

滋賀県PTA連絡協議会

園児 児童 生徒 24時間総合保障制度

(団体総合生活保険)

保険料が約55%割引
団体割引125%
大口団体割引110%
損害率による割引20%適用
 1ヶ月あたり**500円**
(年間保険料6,000円のタイフ)

扶養者に万が一のことがあった場合に

屋外イベントに参加中、熱中症で病院に運ばれた。

自転車で走行中、歩行者にぶつかってケガをさせてしまった。

0-157に感染した。

クラブ活動中にケガをした。
自転車運転中にケガをした。

※学校生活はもちろん、休日も対象です。

お子様の毎日を24時間365日 学校内外を問わず、応援します

スマホ・WEBでお申込みいただけます!

※スマホ・WEBでお手続きいただけるのは新規加入のお申込みに限ります。
※現在ご加入いただいている契約の自動更新停止・内容変更等は書類でのお手続きが必要です。
詳しくは下記代理店までお問い合わせください。

保険料の請求が簡単!

- スマホからご請求いただけます
- 10万円以下のご請求は診断書不要

充実の付帯サービスもご用意

- メディカルアシスト(各種医療に関するご相談)
- デイリーサポート(介護・法律・税務のご相談)

詳しい補償内容・お申し込み手続きは
4月上旬に学校園から配布されるパンフレット
をご覧ください

保障制度のお問合せは、下記代理店へお願いします。

「園児・児童・生徒24時間総合保障制度」係
(株)アーク・スリー・インターナショナル
TEL: 06-7633-0001 (平日10:00~17:00)

詳しくはこちらの封筒をご覧ください!

重要 令和5年度 滋賀県PTA連絡協議会
「園児・児童・生徒24時間総合保障制度」のご案内
(24時間365日、安心の補償でお子様をお守りします!!)

約55%割引!!
年間保険料6,000円に
対して!!

スマホ・PCから簡単に加入申込ができます!
加入申込締切日: 令和5年4月30日(日)

みずいろ

滋賀県PTA連絡協議会 広報紙



発行所
滋賀県PTA連絡協議会
滋賀県PTA安全会
会長 山添友美
編集 広報委員会
印刷 竹田 豊堂

第65回 滋賀県PTA大会

2022年12月3日(土)甲賀市あいこ
うか市民ホールにおいて、県内各
地から370名の参加のもと「第65回
滋賀県PTA大会」を開催しました。

子育てで深めよう! 家族の絆

講師 シンガー 木山 裕策 氏

36歳で病を発症。手術に際し声が出なくなる可能性を医師から告げられたことから、「歌手になる!」という夢の実現に歩みだした木山さん。最後のチャンスと思われたオーディションで落選する父の姿に大泣きする幼い子どもたちを見て、諦めかけるも「倒れても、立ち上がる姿を見せるべき」と考え直し、チャレンジを続けたとのこと。勝ち続けること、負けないことではなく、負けた後どんな風に立ち上がるのかを身をもって教えたい。そんな思いで、子育てに取り組む木山さんが大事にしているのは、「考える力(自分・他人・社会・命について)」を育てることと家族で話し議論する

こと。「家族で」という言葉に、一緒に子育てをしていくんだという思いが現れる。今、コロナ禍の中にあつて、再確認した家族の絆を感じながら、これまでを振り返って「つらいことがあっても、生きていればきっといいことがある。」ということを実感していると結び、透明感のある歌声による歌のメッセージへとつながる講演でした。



会長あいさつ

学びと成長を楽しむ 大人の姿を

会長 山添 友美



今、子どもたちの生きるこの社会は、私たち大人が子どもであった時代とは大きく変化しています。長引く不況の中、仕事と子育てを両立させようという生懸命に頑張っている保護者の方も多くいらっしゃるこの時代、様々な積み重ねる問題に思うようにいかない日々、悩むこともあると思います。それでも、私たち大人は激変するこの社会の未来を担う子どもたちを育てていることには、変わりありません。そして、子どもたちのより良い成長を願うことにおいても同じです。子育ての悩みを共に分かち合うのがPTAであり、共に学び成長させてくれるのもPTAです。そんなPTA活動を楽しむ大人の姿は、子どもたちに、未来や自分自身に対しての強い希望を感じさせるのではないのでしょうか。明るい希望にあふれる子どもたちが、世界をもっと魅力的にしてくれると信じます。

オープニングアクト

地域の伝統「水口ばやし」

県教育委員会・開催地甲賀市・甲賀市教育委員会の後援と、甲賀市P・湖南市Pの協力で行われた今大会は、オープニングアクト「水口ばやし合練会」さんの地域伝統を若い世代に受け継ぐ「水口ばやし」で幕を開けました。開会行事では、山添会長のあいさつ、ご来賓よりの祝辞、各市町P連から推薦を頂いた功労者への表彰と進みます。PTAの先進的な取組を紹介する実践発表では、野洲市立中主小学校PTAの取組が発表され、その後の木山裕策氏の記念講演とも相まって、実りの多い研修機会となりました。



5面に関連記事 見てね!



ソーシャルインクルージョン

『社会的包摂』は、心のバリアフリー



「みずいろ116号(前号)」に続き、「社会的包摂 = ソーシャルインクルージョン」について取り上げます。具体的なPTA活動の場面で様々に取り組まれている実践を参考にしながら、各テーマについて考えてみたいですね。

前号でも資料をご提供いただいた 三重大学教授 深井英喜先生のお話

社会的排除とは、特定の人たち(障がいや生活困窮等)の問題ではありません。人は誰も「個性」を持っています。その個性は、状況次第で排除の要因になります。女性であること、そして若者であることも、企業社会では排除の要因となります。社会的排除とは、人が潜在的な能力を発揮する機会さえ制限する状態を言います。
対して包摂的な社会とは、多様性のある社会です。社会を考える上で「多様性」は重要な概念です。多くの研究が、多様性が社会に安定性と経済的活力を生むことを示しています。多様性のある社会は、人々がお互いの個性に共感し合うため、安心感が高まります。また、多彩なアイデアと能力を調達でき、社会経済の変化に強く活力を生みます。
(三重大学人文学部法律経済学科 教授)

いろいろな個性が一緒にいるからこそ分かり合える

他の大勢と「違う」ことは、ダメなこと？
ともすれば、陥りやすい「マジョリティ(多数派)に属さねば」という強迫観念からの解放が多くの子を救うのではないのでしょうか。「違うのが当たり前」「違っててもいい」です。協調性とは、皆が同じ考えを持つことではなく、個々の違いを認め尊重しながら折り合いをつける力です。身体や発達の障害の有無、国籍、性別、価値観や文化の背景…。それら互いの様々な個性とともに過ごすことでよりよく育つ力とも捉えられます。こうした、インクルーシブ教育や交流教育を受け止める学校・PTAが増えてきました。



そのお知らせ、「みんな」に伝わってる？

学校もPTAも地域社会も、多くの人に知ってもらうために様々なお知らせやお便りを配布していますね。広く「みんな」に知ってもらうための連絡なのに、それが伝わりにくい人がいるかもしれないことに意外と気づかないことがあります。多様性がすすんだこの社会では、「みんな」の範囲を広げる視点が必要かもしれません。地域によっては、お便りにルビを振ったり、ポルトガル語やスペイン語への翻訳版を作成したりする取組が増えてきています。



タブー視しないで、大事な「いのち」について考える

近年話題になっている「生理的貧困」は、単に経済格差に起因する課題としてだけでなく、女性一般に対する不平等性として提議されています。もちろん子どもたちが当事者であることも少なくありませんが、「性に関することをタブー視」する感覚が、子どもたちを苦しめてはいないでしょうか。性教育(命の教育)を正面からとらえた研修会や学校トイレにメッセージとともに無料生理用品を配置する取組をしているPTAがあります。



子どもには教育を受ける権利がある

義務教育ということばは、子どもが教育を受けられるようにする義務が大人にあることを指します。教育は子どもにとっては、義務ではなく権利です。経済的な理由で教科書が買えず教育を受けられないことに対して声を上げ、「教科書無償化制度」を勝ち取った昭和の高知の母たちの例を持ち出すまでもなく、どの子どもが教育を受けられる権利を守るの大人の仕事です。家庭の背景や子どもの個性によらず、平等に教育を受ける権利を守っていかねばなりません。



公平っていうけれど…

同じことをするのに、10の力を要する人もいれば1の力でできちゃう人もいます。その人の仕事や家族構成、個人の思想や得手・不得手によるものかもしれません。こうした個々の状況を考慮せず、「みんな一緒」とくじや輪番で決めることは、一見平等に見えてそうではないのかもしれません。PTAの役員選出でよくあるトラブルの話です。



制服のデザインって、そうでないといけないの？

多くの中学校や一部の小学校で、導入している制服や標準服。慣習を理由に機能的でないものを強制してはいないのでしょうか？また、心の性と身体の性の不一致によってしんどい思いをしている子はいないでしょうか？
近年、学校とPTAの協力で、制服のデザインを変更したり、スカートやスラックスを自分で選択できたりする学校が増えてきました。



しんねんど
新年度も

しがけん れんらくきょうぎかい
滋賀県PTA連絡協議会があなたのPTA活動を応援します

つか 使える 補助金・助成金のご案内

※詳しくは、県Pホームページ各種様式ダウンロードから、ご覧ください

1 子どもの安心安全にかかわる事業助成

PTAがおこなう交通安全・防災研修、危険個所マップづくり等に対する助成

- 1校園につき10,000円以内の助成
- 募集：10校園程度

「乳幼児の防災について」子育て講座 (大津市立逢坂幼稚園 PTA)

保健師・看護師・防災士の資格を持つ講師を迎え、乳幼児を抱えた親子の避難の仕方や日々の心がけ、防災用品について等を学びました。さらに、「防災手帳」の作り方を教わり、実際に用紙に書きだし、準備もしました。

今年度活用例(一部)

2 親育ち支援事業補助

保護者の学びにつながるPTA活動(県P活動目標6項目に沿う)に対する助成

- 1校園につき10,000円以内の助成
- 募集：50校園程度

「SNS・インターネットに潜む危険」親子研修会 (長浜市立高月中学校 PTA)

情報技術推進ネットワーク会社の役員を講師に迎え、SNSの具体的なトラブルについて事例紹介やセキュリティ対策、法的な取り扱い等について、親子で学びました。

「生命のつながり」親子研修会 (彦根市立城東小学校 PTA)

助産師を講師に迎え、生命について6年生児童と共に話を伺いました。奇跡の連続で生まれて、ここにいるだけですごいこと、連続とつながる生命の尊さについて学びました。

「『いいとこ探し』の子育てを」人権研修会 (近江八幡市立八幡幼稚園 PTA)

発達支援課から講師を迎え、子育ての困り感や悩みについて話を伺いました。一人ひとりの違いは当たり前、個性の中にある得意さや苦手さはどの子にもあること、「よさ」に着目することの大切さを学びました。

今年度活用例(一部)

3 人権教育補助事業

人権尊重に関わるPTA活動に対する助成 (条件：滋賀県人権教育研究大会の分科会で事例報告)

- 1校園につき70,000円以内の助成
- 募集：3校園程度

4 市町連P活動助成

県Pの活動目標6項目に沿う連P活動に対する助成 ※市町のPTA大会は対象外

- 1連絡協議会/連合会につき50,000円の助成

令和4年度 県P活動目標

1. PTAの充実・発展を図るために、市町PTA連絡協議会・連合会等と連携しながら、情報の共有と研修に努めます。
2. スマホ・SNSに代表される身近な諸問題を把握し、子どもとの対話を大切にしながら情報モラルを始めとした道徳心の向上に努めます。
3. 「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に、食育と基本的な生活習慣の確立ができるように推進します。
4. 虐待やいじめの防止に努めるとともに、自他の生命や人権を大切にすることを推進します。
5. 子どもたちが安心して健やかに生活ができるように、地域・関係団体との連携に努めます。
6. 豊かな自然に恵まれた郷土を愛する心が育つように努めます。



AIG損保

近くにいる。
チカラになる。

「高校生国際交流プログラム」協賛、「いじめ防止標語コンテスト」協賛、
「エコキャップ推進協会」への支援 ほか

トラベルサービス関西支店
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB-336号 TEL: 06-7223-2120

*** PTA安全会より ***



AIG損保

PTA行事参加中に事故が起これば…
各単位PTAを通じて下記へご連絡ください。

AIG損害保険株式会社

取扱代理店
(株)アーク・スリー・インターナショナル

〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田1丁目14-8 梅田北プレイス13階
TEL(06)7633-0001 FAX(06)7633-0013
(平日:10時~17時まで)

滋賀県PTAホームページ <http://www.shiga-pta.jp/>



地球の未来にできること。
マングローブ「海の森」づくりは、
その答えのひとつです。

東京海上日動は、1999年度からNGOをパートナーに、地球温暖化の抑制に役立つマングローブの植林をはじめました。マングローブ「海の森」づくりは、東京海上日動が地球の未来にかける保険。100年間植林を継続することを目指し、取り組んでまいります。

*「マングローブ植林行動計画」「公益財団法人オイスカ」(1999年度~)
「国際マングローブ生態系協会」(2009年度~)

東京海上日動

東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050 ☎0120-868-100

平日 午前9時~午後8時、土日祝日 午前9時~午後6時 <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

To Be a Good Company

開のPTA なに 何してる!?

「アナログなPTAをグループウェアでデジタル化する!」

中主小学校PTA (野洲市)

会員数が500名を超える中主小学校 PTA では、これまでの「アナログな」PTA 活動の中で、課題意識がありました。「LINE 等を使った役員間の連絡で情報が埋もれる、時間を問わず通知が来る。作成文書やデータがそれぞれ各自の USB メモリに存在する。会員への通知や文書配布に時間がかかる…」などです。

そこで、今年度よりグループウェア「チュピートン (中主の PTA から命名:C 社製ビジネスアプリ作成クラウドサービス)」を導入。役員間の連絡や作成文書の保存・共有に利用するほか、会員にも書類や文書をオンライン配信する、緊急内容の即時配信を可能にするなどの改革につながりました。

導入当初は、ログインが面倒くさい、分かりにくいといった声もありましたが、学習参観日に合わせて会員向けの「チュピ

ートン相談窓口」を開設するなどして、今では、75%を超える会員が登録済み。会議や事業の出欠報告、PTA 会報や地域イベント情報の配信にも活用しており、「PTA 活動に対する印象がよくなった。」との声も聴くようになりました。

ただ、高機能ではあるが、あれもこれもと欲張らず、IT スキルに苦手さを感じる会員に合わせてハードルを下げたり、100点満点を目指さず、利用強制しないことが導入時の留意点です。



中主小 PTA の鈴木健会長が県 P 大会で事例発表をされました。

出場校園 募集中!!

広報紙コンクール

令和4年度に各校園PTAで発行された広報紙すべて3部ずつをお送りください。(幼稚園・こども園は2部ずつ)

締め切り：2023年3月31日

印刷物ではなくインターネットを介して閲覧する「WEB版」のコンクールも始まりました!!

※詳しくは、各校園PTAに配布しているお知らせ、もしくは県Pホームページをご覧ください。

令和4年度

受賞に輝くかたがた (敬称略)

PTA 活動において優秀な活動実績を残された団体・個人を顕彰することで、感謝と敬意をあらわしています。

県PTA会長表彰 団体

高島市立
新旭北小学校 PTA

県PTA会長表彰 個人

大津市 大西 美紀
彦根市 安居 正頼
守山市 酒井 洋輔
高島市 藤原 浩之



CHUBB®

チャブ保険は、
大切なお子さまを
24時間お守りします。

子ども総合保険

ケガ・育英費用・賠償責任を補償!!!

www.chubb.com/jp

Chubb損害保険株式会社

編集後記

何においても、その立場に実際なってみないと状況や気持ちはわからないもの。その中で個性や特性を認め合うには…。難しいけれど、難しく考えすぎず一歩だけ歩み寄ってみたり、少しだけ想像してみたり…。まずは「知る」ことが大きなファーストステップなのかも。表情が見えないままの世の中、心だけは寄せていけるようにできればいいと思います。